資料－３

岩木川河川事業の進捗状況

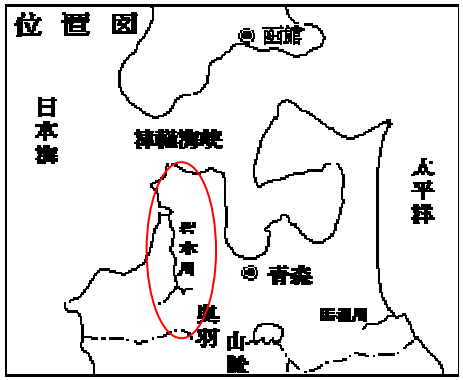
平成２１年１１月２６日

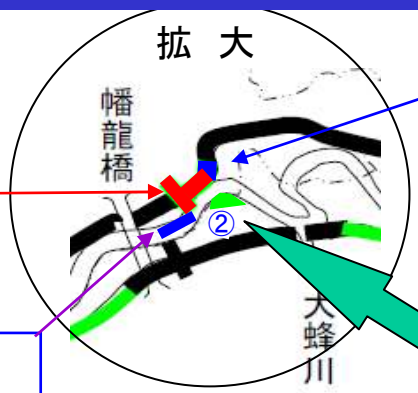
東北地方整備局
青森河川国道事務所

目　　次

・平成２１年度の河川改修事業　・・・　１
・河川の流水の活用について　・・・　９
・河川環境の整備事業　・・・　１０
・河川の維持管理　・・・　１１
・住民参加と地域との連携　・・・　１５

平成21年度事業　位置図（治水事業）





【板柳地区】
堤防整備：無堤地区解消
L＝50m
排水樋門1基
用地補償

【板柳地区】
堤防整備：用地補償

【浅瀬石川右岸地区】
堤防整備：質的整備
L＝750m

【浅瀬石川左岸地区】
堤防整備：質的整備
L＝180m

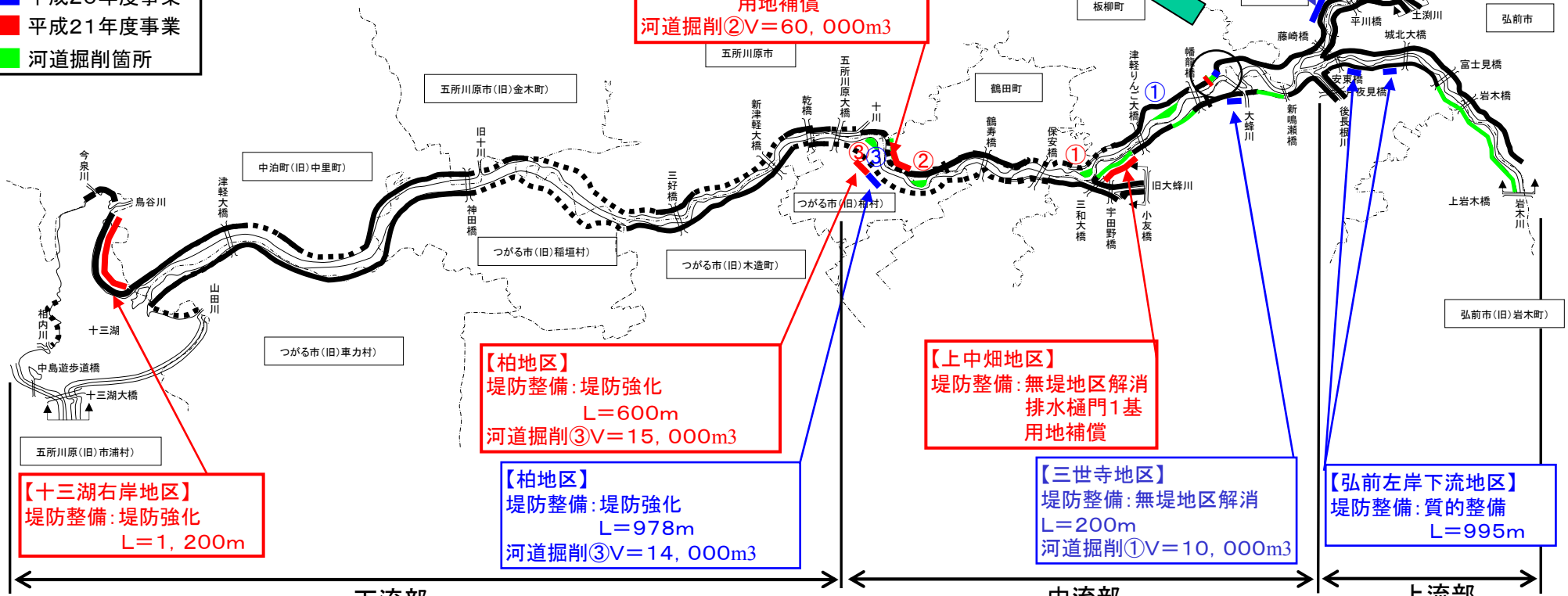
【平川右岸地区】
堤防整備：無堤地区解消
L＝280m
河道掘削①V=12，000m3

【平川右岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝960m

【板柳地区】
河道整備：護岸工、根固工
河道掘削②V＝30，000m3

【鶴田右岸地区】
堤防整備：堤防強化
L＝2，000m
用地補償
河道掘削②V＝60，000m3

凡　例
- 平成20年度事業
- 平成21年度事業
- 河道掘削箇所



【柏地区】
堤防整備：堤防強化
L＝600m
河道掘削③V＝15，000m3

【上中畑地区】
堤防整備：無堤地区解消
排水樋門1基
用地補償

【十三湖右岸地区】
堤防整備：堤防強化
L＝1，200m

【柏地区】
堤防整備：堤防強化
L＝978m
河道掘削③V＝14，000m3

【三世寺地区】
堤防整備：無堤地区解消
L＝200m
河道掘削①V＝10，000m3

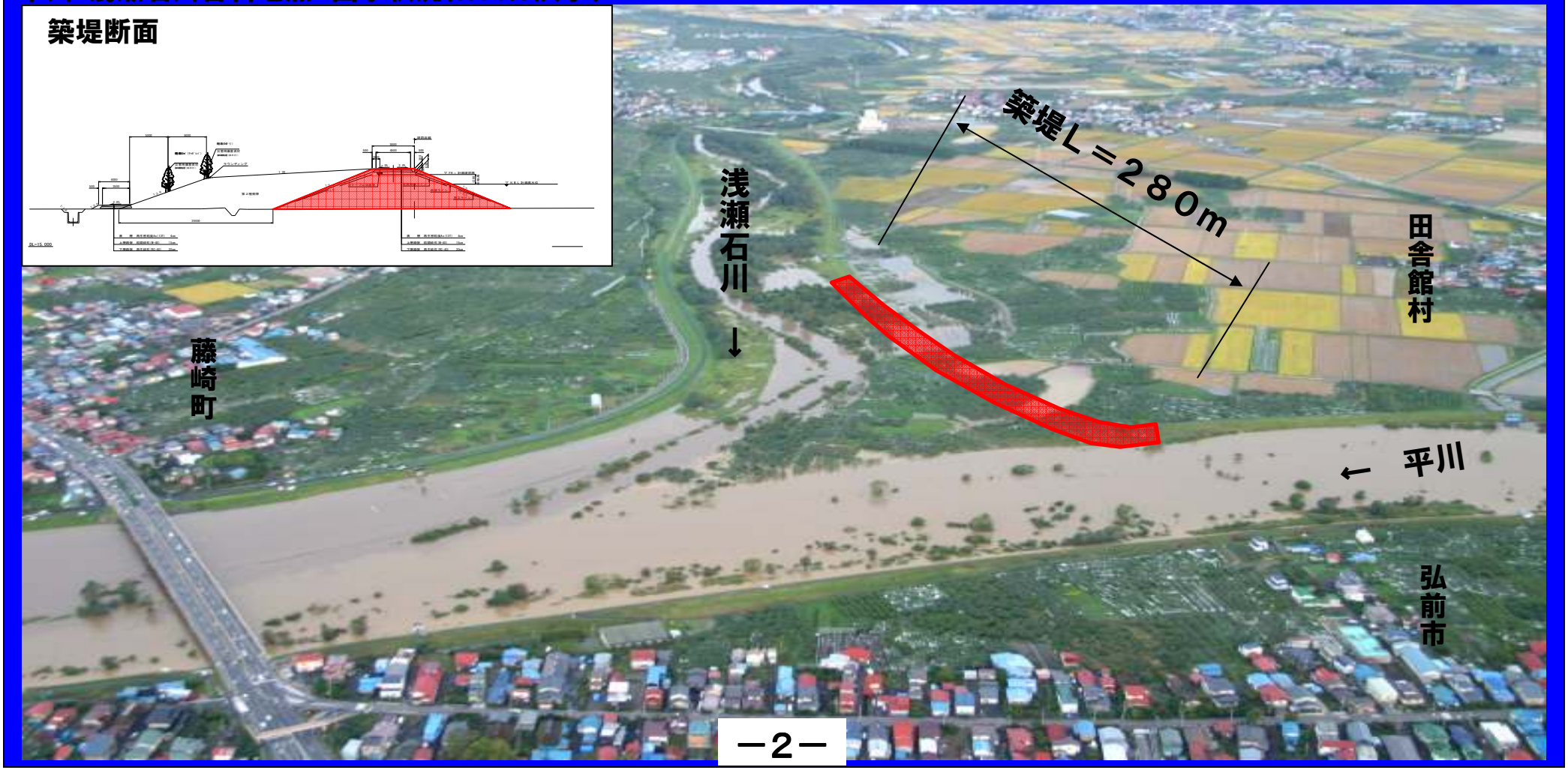
【弘前左岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝995m

下流部　　中流部　　上流部

平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　上流部【平川右岸地区】

○平川右岸豊蒔地区は当該区間のみ無堤箇所となっており、合流する浅瀬石川の堤防が完成堤で整備されていることから、無堤箇所より出水のたびに浸水被害が発生するため、地域からも早期の堤防整備を強く要望されています。
○当該区間を整備することで、上流にあるダムによる洪水調節を十分に発揮することが可能となり、一連区間の整備が完成するものです。よって、今年度、無堤地区を解消する予定です。

平川・浅瀬石川合料地点　出水状況（H16.9洪水）

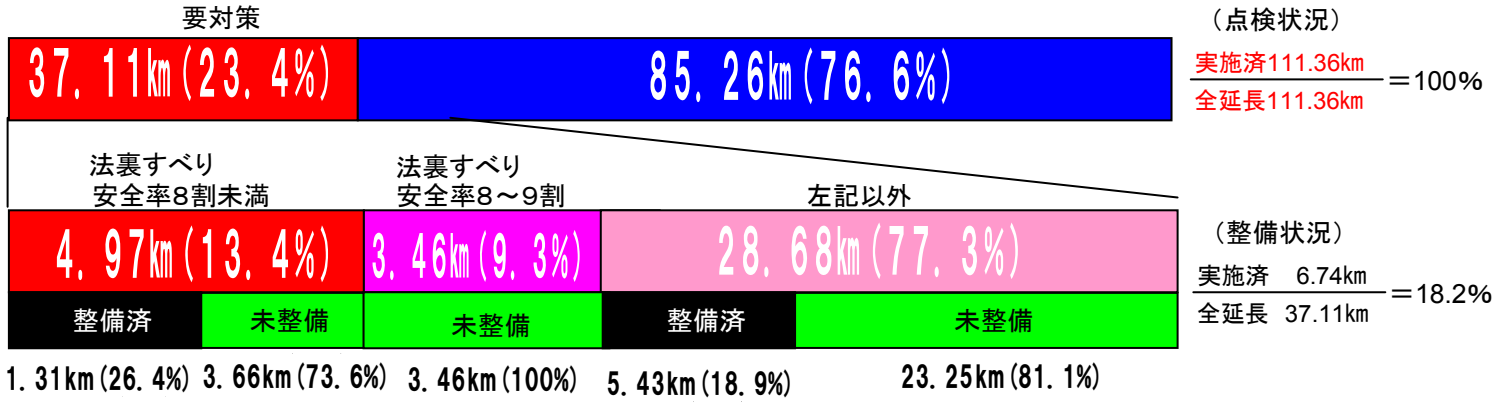


平成21年度事業　堤防質的整備　上流部【浅瀬石川右岸、左岸地区】

漏水や浸透に対して、脆弱な箇所の堤防強化を実施。
堤防整備と平行して流下能力の低い箇所について河道掘削を実施。掘削した土は堤防の整備に使用。

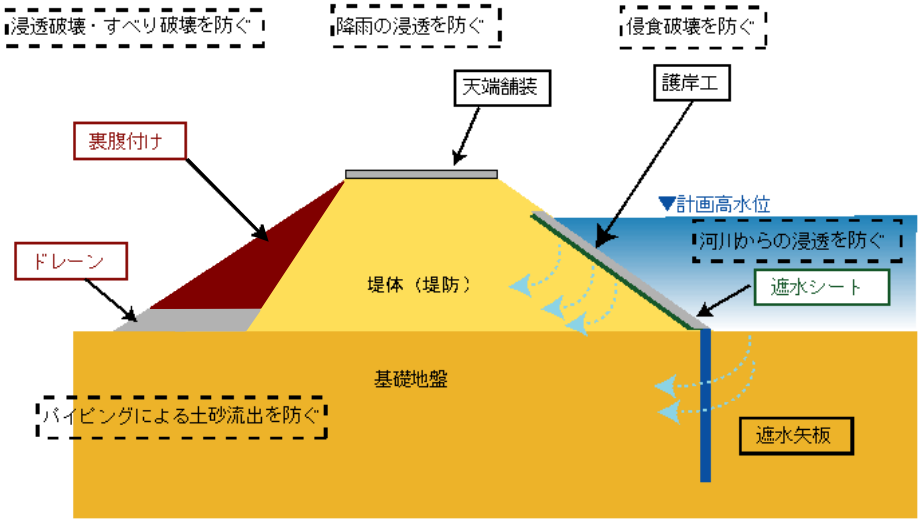
堤防の詳細点検の状況

H20．3時点結果



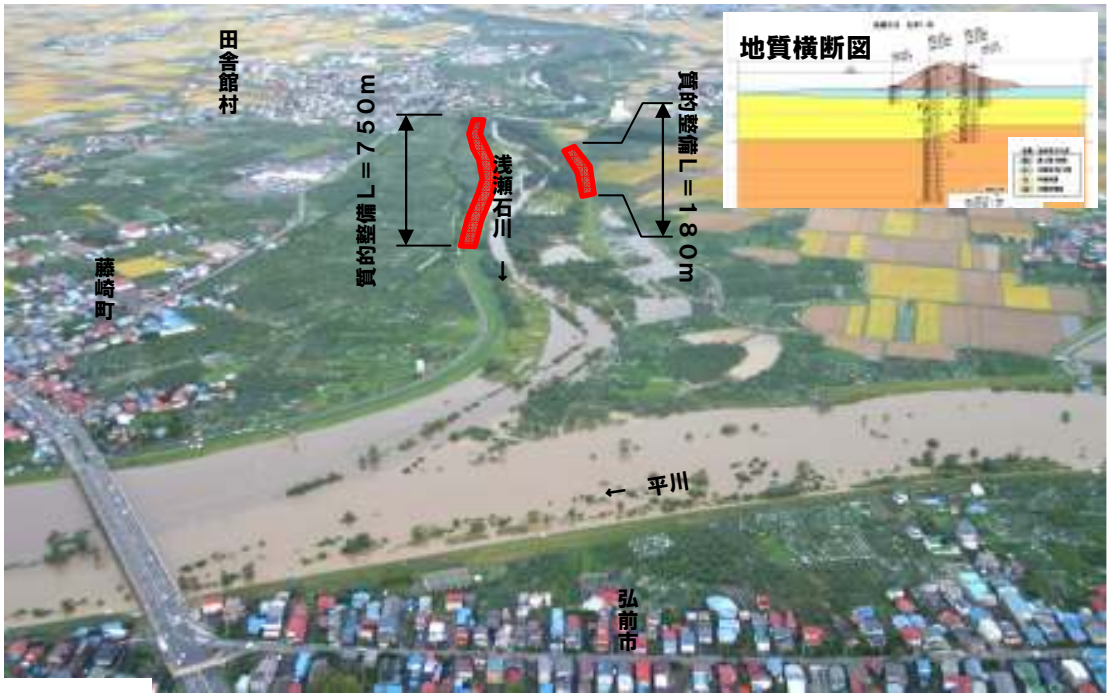
要対策箇所の被災形態

堤防の詳細点検実施状況（岩木川）



堤防の質的強化　断面イメージ

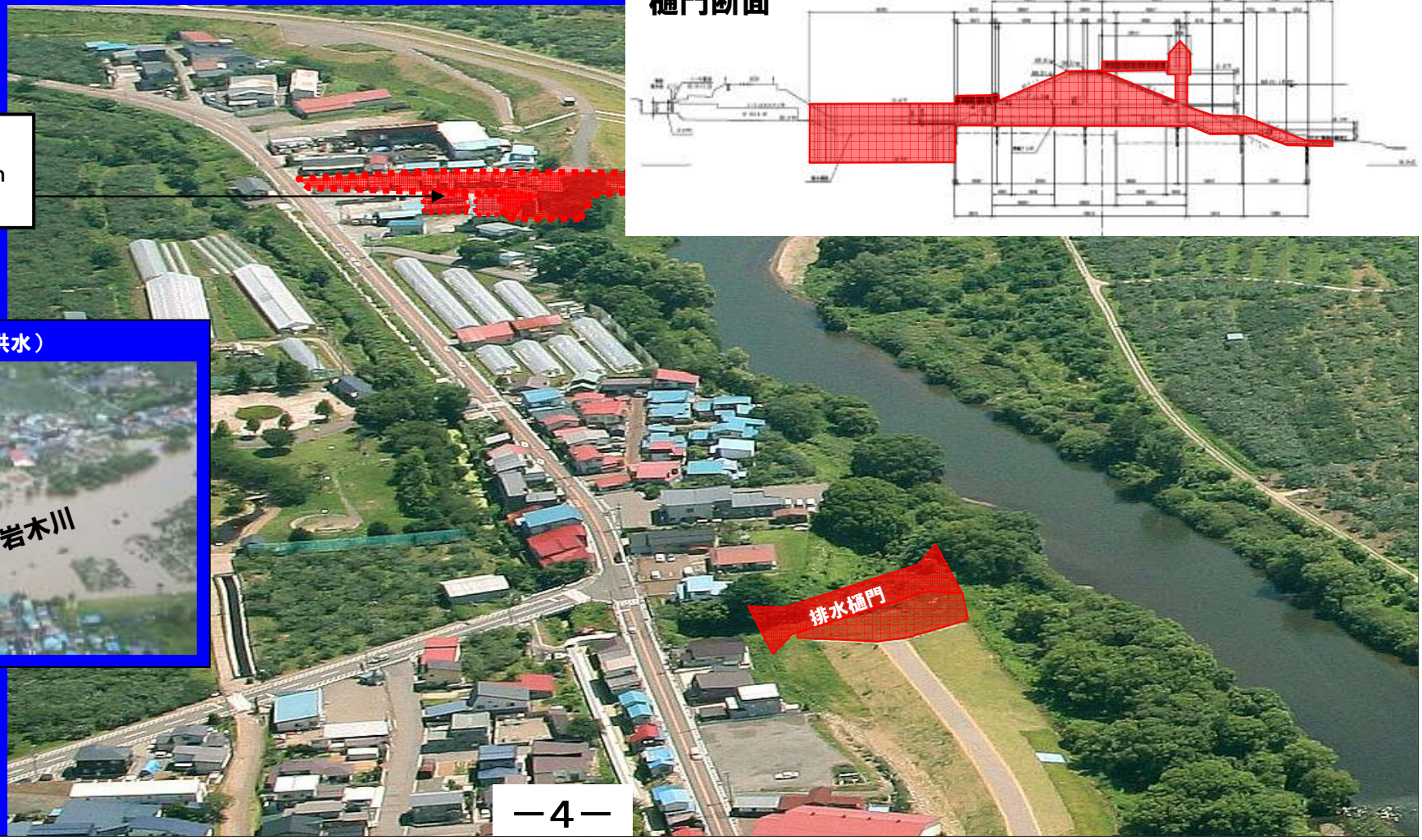
※［　　］項目が今回の質的整備内容



平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　中流部【板柳地区】

〇岩木川右岸板柳地区は、上下流の堤防が整備されており、当該地区だけが無堤箇所となっていることから、
地域より早期の堤防整備を強く要望されています。
〇当該区間を整備することで、岩木川右岸の堤防は浅瀬石川から十三湖まで一連区間の堤防整備が完成します。
よって、今年度、用地調査及び一部用地補償、排水樋門を整備し、河川改修事業の推進を図ります。

H21用地補償
　堤防整備L＝50m
H22堤防整備予定



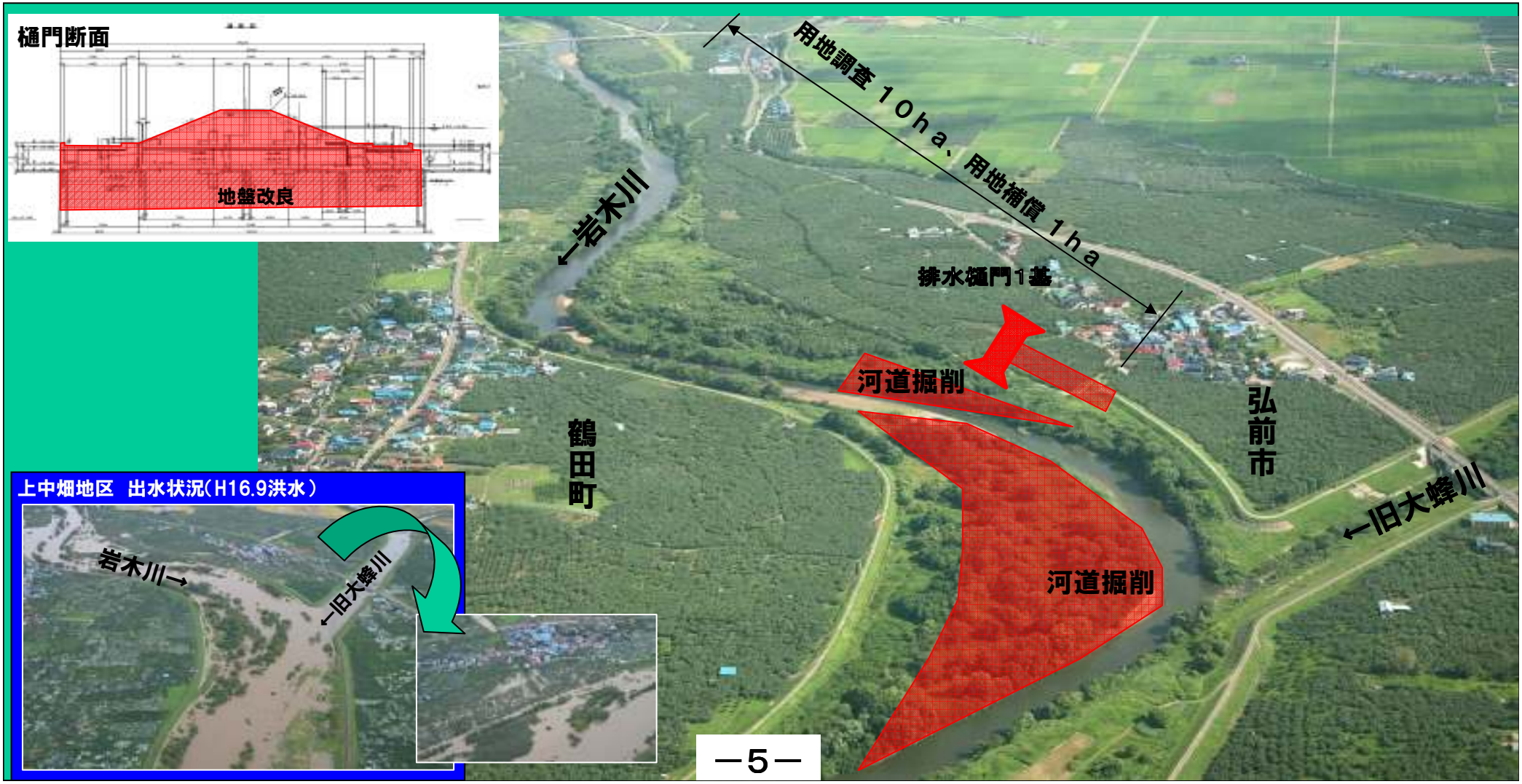
樋門断面

板柳地区　出水状況（H16.9洪水）



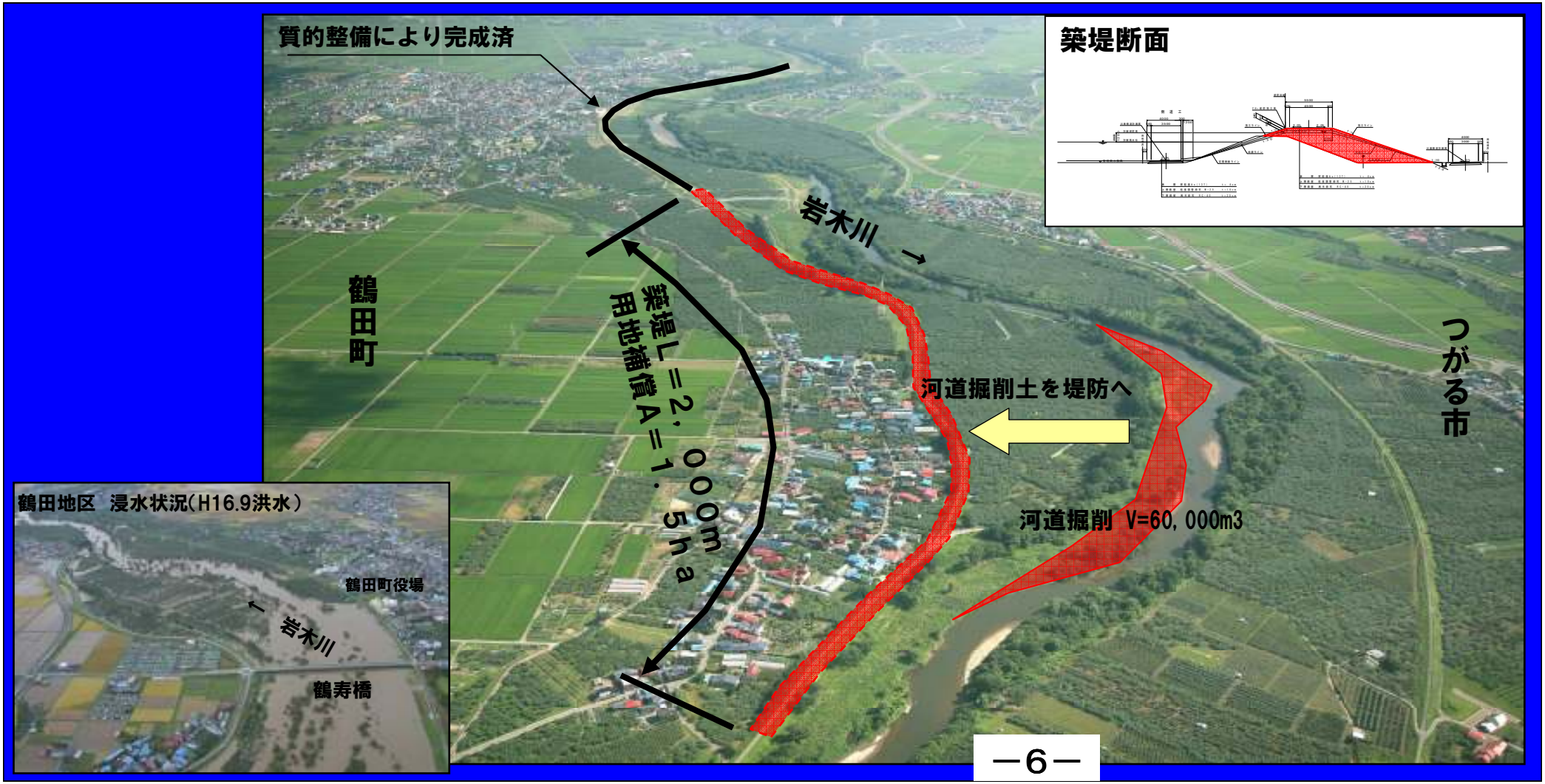
平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　中流部【上中畑地区】

○岩木川左岸上中畑地区は無堤箇所となっており、合流する旧大蜂川の堤防が完成堤で整備されていることから、出水のたびに浸水被害が発生するため、地域からも早期の河川改修を強く要望されています。
○当該区間を整備することで、板柳大橋から旧大蜂川までの一連区間の堤防整備が完成するものである。よって、今年度、用地調査及び一部用地補償、排水樋門を整備し、治水対策に着手します。



平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　中流部【鶴田右岸地区】

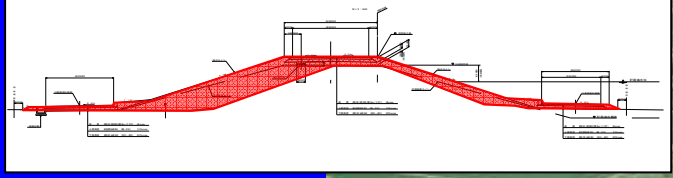
○岩木川右岸鶴田地区の堤防は現在H．W．L以下の暫定堤防であり、地域からも早期の河川改修を強く要望されています。また、背後地には大巻地区の集落が広がっています。
○当該区間の上流側は既に堤防整備により完成堤となっており、一連区間の整備効果を発揮させるため、今年度、堤防整備を実施する予定です。



平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　中流部【柏地区】

〇岩木川左岸柏地区の堤防は現在H．W．L以下の暫定堤防であり、地域からも早期の河川改修を強く要望されている。また、背後地にはまちづくり交付金を活用した「かしわニュータウン」があり、地域の宅地化が進んでいる。
〇当該区間の上流側は既に河道掘削と併せ、完成堤となっており、一連区間の整備効果を発揮させるため、平成21年度補正予算を充当し、治水対策の進捗を図るものである。

築堤断面

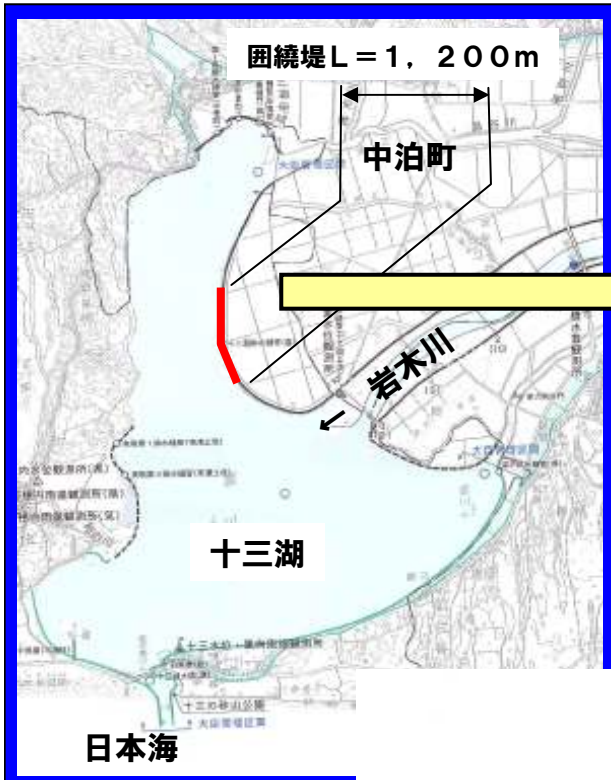


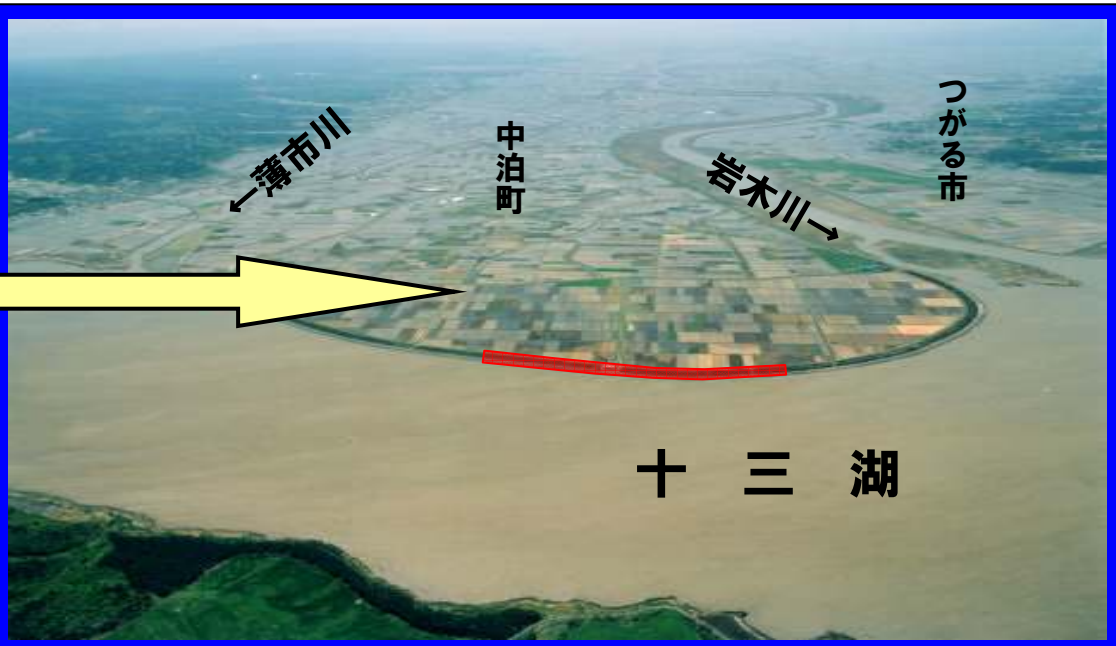


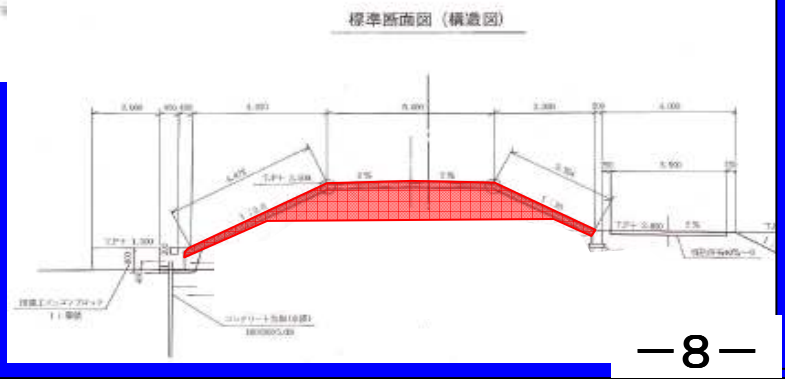
平川・浅瀬石川合料地点　出水状況（H16.9洪水）

平成21年度事業　堤防整備・河道掘削　下流部【十三湖右岸地区】

○十三湖右岸囲繞堤は昭和58年5月26日発生の日本海中部地震により被災し、災害復旧等により完成したもので あるが、N値5以下の軟弱地盤で完成した囲繞堤が沈下し、一部では1mもの沈下が進行しているため、囲繞堤として の機能が確保されていない状況です。また、台風等で波浪が発生した際には越波による海水の浸水により、大きな被害が発生しており、地域からも早期の河川改修を強く要望されています。よって、今年度、右岸囲繞堤の整備を実施 予定です。







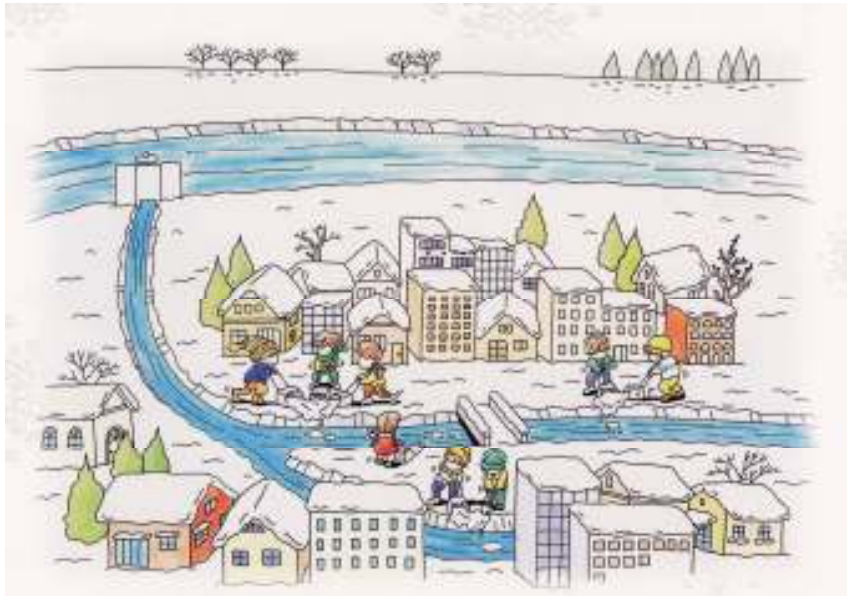
十三湖右岸囲繞堤出水状況（H16.9洪水）

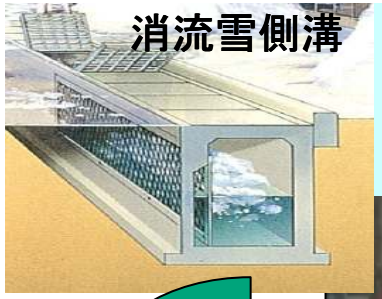




平成21年度事業　消流雪用水導入事業　【鶴田地区】

《消流雪用水導入事業とは？》





側溝に水が十分流れないと、投げた雪がつまってしまう！



《整備後の状況（弘前地区）》H12完成





《整備後の状況（五所川原地区）》H15完成





《整備前の現状（鶴田地区）》H21工事着手



歩道の積雪により車道はみ出し登下校



消流雪用水不足のため、水路の閉塞

H21年度事業　環境整備事業　【自然再生】

事業の概要

魚道機能の不良等で川の連続性が悪化
↓
既設魚道の改善及び緩勾配式 魚道の新設などにより川の連続性を復元

事業内容

事業期間：平成18年度～平成25年度
事業内容：魚道改良　1箇所、堤外水路の段差修正　2箇所

現況写真

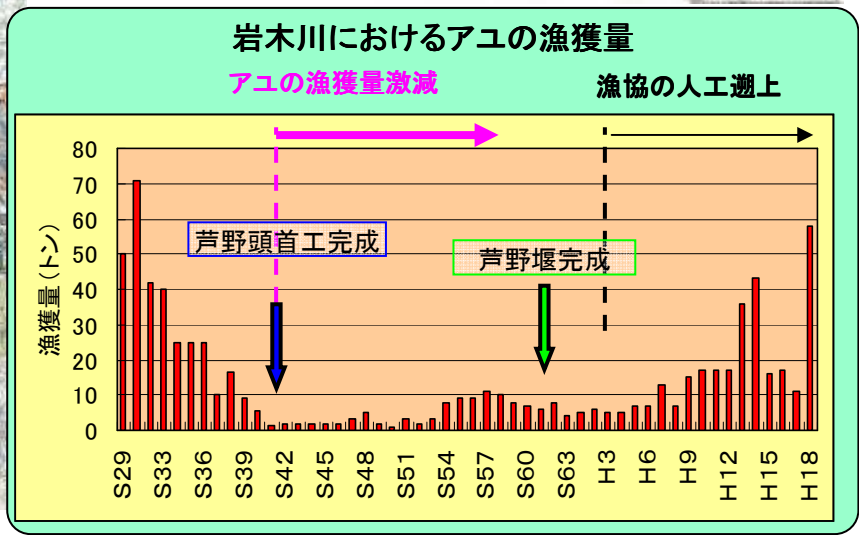


完成イメージ









H21年度事業　維持管理業務

○維持修繕工事　（堤防除草工　年2回、伐木除根工　1式、
塵芥処理工　1式、芝張替工　1式）

○河川巡視業務　（河川パトロール週2回）

○樋門・樋管点検　（専門業者による設備点検　年1回、
操作員による点検　月1回）



堤防除草作業の様子



伐採作業の様子



樋門・樋管点検の様子

○渇水

渇水に備えて～岩木川水系渇水情報連絡会

渇水は、水道、かんがいなど人々の暮らしに影響を及ぼすだけでなく、水質悪化や川に生息する生物への影響が懸念されます。このため、平成7年に利水者、環境関係機関、河川管理者で構成する「岩木川渇水情報連絡会」を設立し、毎年、関係機関相互に情報・意見交換等を行っています。また渇水時には随時会議を開き、連携を密にしています。



平成21年4月27日、連絡会を開催、情報・意見交換を実施しました

構成機関

●河川管理者
（青森県河川砂防課、青森河川国道事務所、津軽ダム工事事務所、浅瀬石川ダム管理所など）

●利水者
（弘前市（水道）、五所川原市（水道）、東北電力(株)（発電）など）

●関係機関
（青森地方気象台、青森県農林水産部、東北農政局など）

H21年度事業　維持管理業務

○不法投棄

近年、地球温暖化、資源リサイクルなど環境問題が随所で叫ばれており、人々の環境意識は高まっているものの、一部の心ない人による不法投棄は未だ後を絶たちません。高水敷は地域住民の憩いの場などに利用されており、河川敷への出入りは自由であり、人目につきにくい橋の下、ヨシ原のかげ等を中心に、不法投棄がたびたび発生しています。

河川管理者は不法投棄対策として、看板の設置や情報提供など様々な取り組みを行っています。また、本年度から、「岩木川水質汚濁対策連絡協議会」の目的として、不法投棄対策を位置づけ、関係各機関が連携して取り組む体制を強化しております。

不法投棄の実態調査

青森河川国道事務所では、管理している岩木川の不法投棄の実態について、調査しており、その結果は右のとおりです。

（単位：台）

調査対象 4月～9月	H18	H19	H20
テレビ	27	8	13
冷蔵庫	13	2	8
洗濯機	4	7	3
エアコン	1	0	1
その他家電	13	10	5
自動車	1	0	0
オートバイ	3	1	2
自転車	8	13	6



看板の設置、パトロール、各種広報活動など対策を講じているが、不法投棄は後を絶たない。

地域との連携

これまで行っている河川巡視や、看板の設置等を継続すると共に、ホームページに「ごみマップ」を掲載するなど広報活動も積極的に展開していきます。

また、関係機関との連携や、地域住民の協力を得ながら不法投棄対策に取り組み、地域の環境を共によくしていくことを目指しています。



平成21年4月19日弘前市内の岩木川で実施した市民による一斉清掃活動の様子



ボランティアパトロールとして、地域の皆さんに不法投棄等の監視を行ってもらう取り組み。平成21年8月25日藤崎小学校の生徒によるパトロールの様子

○水質汚濁対策連絡協議会

岩木川水系における水質・生活排水等の水質実態調査の実施

岩木川および岩木川につながる排水路等での水質試験を行い、結果を分析し水質改善活動を行っています。

岩木川・平川の東北の直轄河川における近年の水質ランキング

平成17年　ワースト5
平成18年　ワースト6
平成19年　ワースト4
平成20年　ワースト2

東北地方の一級河川では、依然として下位に位置しています。

関係機関への情報提供・共有、地域住民への水質維持・改善の意識啓発活動に取り組んでいます。

※有機物汚染が進むほど値が大きくなるBOD指標による評価。

広報活動

地域の小学生を対象に、「川をきれいにするポスター」の作品を募集し、ポスターの作成、入賞作品の展示会の実施等を通じ、河川愛護の思想の普及を図っています。



平成20年度特選作品

水質事故対応

流域内で発生した水質事故は、水路・小河川等を通じ岩木川水系の水質を脅かすおそれがあります。水質事故発生時には関係各機関が情報を共有し、迅速に被害拡大防止の対策に努めています。こうした事態に備え、想定通報演習やオイルフェンス設置訓練等も実施しています。



平成21年9月8日オイルフェンス設置訓練の様子

H21年度　住民参加と地域との連携

岩木川ボランティアパトロール

内容：　岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会に加盟している青森県及び13市町村の応募した**地元住民がボランティアで当事務所と協働で実施する。**

○不法投棄の監視・清掃活動を行い、**美しい河川の環境を保つ**

○水難事故防止の呼びかけ、危険箇所・危険行為の発見など

河川管理上の安全対策活動を行い**安全な地域づくり**





H21年度　住民参加と地域との連携

堤防除草の市町村委託

内容　：　堤防の除草作業を岩木川管内4市町村に委託し作業を実施

〇川を地域自らの共有財産として認識し、関心を寄せ、川を普段からよく観察、監視してもらう。

〇河川管理施設の状態を知ることで、危機管理意識が向上→地域防災力の向上。

小中学生参加による水生生物調査

内容　：　地域の小・中学生と共に水生生物の分布状況を調査

〇調査により河川の水質状況を概観し、水環境管理の推進に資する。

〇河川の水質や生態系を保全する心を養う。



中泊町住民による除草作業



弘前市立三省小学校児童による水生生物調査

H21年度　住民参加と地域との連携

川の通信簿

河川空間の現状をその満足度について5段階で評価する「川の通信簿」を地域住民との共同作業で実施。
岩木川流域では10箇所で行われ4つ星（相当よい）が3箇所、3つ星（普通）が7箇所という結果となった。



地域住民参加による評価作業の様子

出前講座

弘前市立文京小学校4年生75名を対象に、総合的な学習の時間を活用し「わたしたちの岩木川～くらしと結びついている岩木川～」の出前講座を実施。
子供たちからは「今日は水の達人から色々な事を教えてもらったのでいろんな所で役立ったらいいな」などのたくさんの感想をいただいた。
この他、鶴田町による通学合宿「にぎりまんま塾」においても出前講座を実施。



弘前市立文京小学校での様子（H21．6．12）

H21年度　住民参加と地域との連携

河川事業と鳥類への影響に関する意見交換会

鳥類の生息環境を踏まえた工事を実施するため、河川水辺の国勢調査アドバイザーや、河川環境保全モニターから、各事業箇所に対する意見として、配慮すべき点、施行時期等についてご指導を頂き、それらに配慮した河川事業を行うことを目的として実施。



現地にて指導を受けている様子（H21．11．6）

岩木川洪水危機管理演習（H18実施）

青森河川国道事務所だけではなく岩木川沿川市町村（H18年は五所川原市と鶴田町）も参加し、ロールプレイング方式での洪水危機管理演習を実施。
演習参加者はシナリオを知らされていないため、より実践的な訓練となっている。
（次回は平成23年度実施予定）



演習中の五所川原市職員